

【担当教員】

平山 征夫・(未定)・菅 務・池崎 宏昭・千葉 雄二・宮崎 孝・川島 孝夫

【教員室または連絡先】

総合研究棟404室(平山)

【授業目的及び達成目標】

本授業は、自然環境、人類の文化的・経済的活動など、技術科学をとりまく諸事情を理解し、広い視野を持って人類の幸福と持続的繁栄に技術科学を応用する意義を正しく認識した技術者になることを目的とするものであり、特に本授業では経営学の視点から、企業の実践的側面を理解することを達成目標とするものである。

【授業キーワード】

企業、経営資源、企業文化、顧客、企業の社会的責任

【授業内容及び授業方法】

本授業は、多くの実務家を講師として迎え、様々なケースを取りあげながら、企業の経営的な実践的側面について学んでいくものであるが、具体的に、企業内部で生じる、ヒト、モノ、カネ、情報、さらに第5の経営資源についての問題、また、企業外部で生じる経営的問題に対して、実践的にはどのように対応しているのか、講義や演習を通じて学んでいく。

【授業項目】

第1回～第2回:企業と地域 ー地域産業振興を学ぶー
第3回～第4回:企業と開発 ー商品開発・技術開発部門を学ぶー
第5回～第6回:企業と人事 ー賃金を学ぶー
第7回～第8回:企業と人的資源開発 ーサービス業に学ぶー
第9回～第10回:企業と経営資源 ー鉄鋼業の企業文化に学ぶー
第11回～第12回:企業と文化 ー広告業に学ぶー
第13回～第14回:企業と倫理 ー食品企業に学ぶー
第15回:期末試験

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

遠山正朗編著(2003)『ケースに学ぶ企業の文化』白桃書房。
遠山正朗編著(2003)『ケースに学ぶ企業と人材』白桃書房。

【成績の評価方法と評価項目】

期末試験により評価する。

【留意事項】

日本経済新聞を購読していることが望ましい。

【担当教員】

渡辺 研司

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟303号室、内線9351、e-mail:watanabe@kjs.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

現代社会・経済への情報技術の活用が加速されつつある中、ITスキルはもはや社会活動を行う上で必要不可欠な基盤スキルである。本授業では企業活動におけるIT活用に焦点を当て、その現状や最新動向を理解したうえで、必要なスキルの開発を主に演習を通じて習得する。

【授業キーワード】

エンドユーザー・コンピューティング、ビジネス・ドキュメンテーション、ビジネス・シミュレーション、プレゼンテーション

【授業内容及び授業方法】

前半は企業活動におけるIT導入状況と今後の方向性、またその背景について解説を行い、後半については実際の事例をもとに、ビジネス実務を想定したドキュメンテーション、シミュレーション、プレゼンテーションにかかわる演習を実施する。

【授業項目】

1. イントロダクション
2. 企業活動におけるIT
3. エンドユーザー・コンピューティングとワーク・スタイルの変遷
4. ビジネス・ドキュメンテーション演習
5. ビジネス・シミュレーション演習
6. ビジネス・プレゼンテーション演習
7. 総括

【教科書】

特になし

【参考書】

特になし

【成績の評価方法と評価項目】

前半については確認テスト(25%)、3領域の演習についてはそれぞれ25%ずつの配分で評価を行う。

【担当教員】

塩野谷 明

【教員室または連絡先】

西澤良之(副学長室内線9002)
三宅仁(体育・保健センター107室内線9822、E-mail:miyake@melabo.nagaokaut.ac.jp)
斎藤秀俊(物質・材料 経営情報棟1号棟426室内線9316または3217)
木村悟隆(生物1号棟554室内線9413)
上村靖司(機械建設1号棟407室内線9717)
塩野谷明(体育・保健センター108室内線9823、E-mail:shionoya@vos.nagaokaut.ac.jp)

【授業目的及び達成目標】

近年、特に阪神・淡路大震災以来、急迫的緊急避難状況下におけるボランティア活動の必要性・重要性が取り上げられている。しかし実際には、ボランティア活動の必要性は急迫的な状況だけに留まらない。また急迫的な状況であればあるほど、ボランティア活動に求められる知識・能力は専門かつ広汎に及ぶ。本授業では、ボランティア活動及び関連する事項全般について事例、具体例に基づき、総合的総括的に学ぶとともに、活動に必要な知識、専門性そして資格取得のためのそれらについて学び、学習者がそれら資格を取得または習得する機会・足がかりをつかむことを目標とする。

【授業キーワード】

ボランティア、医療・福祉、震災、組織運営、資格、NPO

【授業内容及び授業方法】

授業項目に挙げる内容について、オムニバス形式で行う。授業方法は、各担当教員より別途指示するものとする。

【授業項目】

1. ボランティア活動概論
2. 震災時に必要なボランティア
3. 災害に学ぶ(新潟中越地震、7.31水害、大雪等)
4. 医療・福祉におけるボランティア
5. 組織運営とボランティア
6. ボランティアと資格
7. ボランティアとNPO
8. その他

* 授業項目の頭の数字は、授業回数を示すものではない

【教科書】

各教員毎別途指示する

【参考書】

各教員毎別途指示する

【成績の評価方法と評価項目】

各教員毎にレポート等で評価し、その平均で最終成績とする。詳細は授業開始時に指示等を行う。

ボランティア実践活動
Practical Volunteer Activity

実習 2単位 1,2学期

【担当教員】

経営情報システム工学課程主任

【授業目的及び達成目標】

ボランティア活動に関する知識・技能を学び、将来のボランティア活動に役立つ能力を身につけるとともに、学生及び社会人として求められる自主性、積極性、組織性、奉仕の精神、問題発見・解決能力などの資質を養うことを目的とする。

【授業内容及び授業方法】

公共団体及びボランティア団体等、責任の所在が明確な団体の主催する活動に参加する。

【授業項目】

学生自身が探し、実際の活動にあたっては、事前に「ボランティア活動計画書」を各課程主任等の承認を得て、経営情報システム工学課程主任に提出し、その承認を受ける。

【教科書】

なし

【参考書】

活動内容による。

【成績の評価方法と評価項目】

ボランティア実践活動時間を証明するボランティア団体等の責任者の証明書、ボランティア活動レポートにより判断する。

【留意事項】

学期始め履修申告期間に開催されるガイダンスの受講を原則とする。また、事前に「教養科目履修案内」をよく読むこと。